

ごみ削減優良事例集



目次

1	リニューアブル
	・環境にやさしいアメニティへ／ホテルモナーク鳥取
2	排出抑制（リフューズ、リデュース）
	・食品ロスの削減等／（株）サンインマルイ ・ホテルシェフ考案の食品ロス削減メニュー／（公社）倉吉法人会女性部会 ・フードドライブ／エプソンリペア（株） ・レジ袋として利用できる「海護袋（ゴミ袋）」／日吉津村 ・生ごみ出しま宣言袋／大山町
3	再使用（リユース）
	・ランドセル FOR ALL／流通（株） ・再生品の展示提供、体験型イベントの開催／リファーレンいなば ・リユース容器のレンタル／エポック翼
4	再利用（リサイクル）
	・食育を通じた食品ロス削減等(環境教育)／学校法人かいけ幼稚園 ・学校での4Rの取組／国立大学法人鳥取大学 ・地域が連携した食品リサイクルループ／八頭町

取組事例の紹介

1 リニューアブルの取組

○環境にやさしいアメニティへ／ホテルモナーク鳥取

実施主体：ホテルモナーク鳥取

対象の取組：リニューアブル

従来のプラスチック製アメニティ等を環境配慮素材等で作られたものに切り替え、プラスチックごみの削減を図っている。

- ・宴会場やレストランで使用しているプラスチック製ストローは、すべて紙製ストローに変更
- ・客室のボールペンは、竹を材料としたエコボールペンに変更、
- ・温泉大浴場用アメニティは、米粉を原料にしたものへ変更

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



関連取組企業等

株式会社ホテルマネジメント米子 (ANA クラウンプラザホテル)、有限会社養生館 他

2 排出抑制（リフューズ・リデュース）の取組

○食品ロスの削減等／（株）サンインマルイ

実施主体：（株）サンインマルイ

対象の取組：リフューズ・リデュース・リニューアブル

- 地域資源の循環を促すため、店舗で発生した食品廃棄物等の回収を生ゴミから堆肥化が可能な鳥取県の事業所へ委託
- ネットスーパー、お歳暮等では、過剰包装による環境負荷の観点からエコ包装や簡易包装の取組み
- 酒販部門では、リターナブル瓶や一升瓶の回収及び、量り売りの実施
- 全店にペットボトル、アルミ缶、食品トレーの資源回収ボックスの設置
- レジ袋を「バイオレジ袋」へ切り替え、また、持ち帰り用のカトラリー（スプーン等）を「木製」へ変更
- 社内教育として HACCP のマニュアルや EA21 の共有
- 地産地消、食育を推進し、健康や食品に対する意識の改革など（HP）



食を通じて、健康的でいきいきとした暮らしを実現する。

『食べる』ことは、ただ単にお腹を満たすことではなく、いつ、どこで、だれと、なにを、どのように食べるかを考えることです。これは暮らし方、生き方を考えるきっかけに繋がっています。

マルイの食育事業では、日々の生活に寄り添いながら、地域のお客様の毎日の食卓を預かるスーパーマーケットとして、お客様ひとりひとりに合った「食生活」に向けた情報発信や商品、サービスの創出、体験企業の運営を行っています。

食育事業を通じたコミュニケーションにより、1地域、豊かで美しい食卓の実現を目指し、地域に豊かさと活力を提供出来るよう、地域社会の一員として、ともに考え、行動しています。



（株）マルイ

○ホテルシェフ考案の食品ロス削減メニュー／(公社)倉吉法人会女性部会

実施主体：(公社) 倉吉法人会女性部会

対象の取組：リデュース

食品ロス削減に関する研修を実施。

食品ロス削減のきっかけとするため、野菜の端材（野菜の皮や芯）のほか、“余りがちな食材”等を利用したメニューを地元ホテルのシェフに考案を依頼し、研修の中で廃棄される食品ゴミの現状や調理のポイントを学ぶとともに実食も行い、会員間の意識啓発や各家庭での取り組みを推進している。

食品ロス削減メニュー

(使いたい食材等)

前 菜	・大根の皮 ペペロンチーノ ・人参の皮 キャロットラペ ・もやしのスパニッシュオムレツ ・豆腐と無花果の和洋風 白和え ・ごはんの残り アランチーニ	大根の皮 人参の皮 もやし 豆腐 ごはんの残り
スープ	・ベジブロスを使ったSDGsなスープ	野菜の端材
メイン	・サーモンのムニエル レモンクリームパスタ添え	牛乳・レモン・粉チーズ 等
デザート	・ロイヤルミルクティーの フレンチトースト	食パン・牛乳・茶葉

(メニューの一例)



写真提供：倉吉法人会

関連取組企業等

○フードドライブ／エプソンリペア（株）

実施主体：エプソンリペア株式会社

対象の取組：リデュース

従業員の家庭等で食べきれない食品を持ち寄り、必要とする方々へ提供するフードドライブ活動を実施している。

社会貢献活動に加えて、従業員の環境意識向上を目的として活動に参画しており、協賛回数を増すごとに食品の持ち寄り数も増加している。



関連取組企業等

鳥取市、鳥取県

〇レジ袋として利用できる「海護袋（ゴミ袋）」／日吉津村

実施主体：日吉津村

対象の取組：リデュース

日吉津村では、指定ゴミ袋として利用できるレジ袋「護海袋（ごみぶくろ）」の販売を開始。このレジ袋は、一枚ごとに販売されており、レジ袋購入時に「海や自然のことを考えていただく、“きっかけ”として考案されたものです。

〰〰〰 海を護るごみ袋プロジェクト 〰〰〰

護海袋

ごみぶくろ

- 日吉津村指定ごみ袋（燃えるごみ手提げ式）を商品の持ち帰りのため、1枚20円で販売します。
- 持ち帰り後は、燃えるごみを出す袋として使用ください。

減らそうー!

海洋ごみを

100年先もきれいな海を!

もえるごみ収集指定袋としてご使用いただけます
※自治会で決められた日時、場所に出してください

日吉津村

主催 一般社団法人海と日本プロジェクトinとっとり

日本財団
海と日本
PROJECT
CHANGE
FOR THE
BLUE
海の未来を支える民間

※このプロジェクトは、日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で開催したもの。

関連取組企業等

- ・一般社団法人海と日本プロジェクト in とっとり

○生ごみ出しま宣言袋／大山町

実施主体：大山町

対象の取組：リデュース

生ごみを自家処理し、生ごみを可燃ごみとして排出しない世帯を増やすことによって、生ごみの減量化を推進するため、「生ごみ出しま宣言袋」（生ごみ以外の可燃ごみ専用袋）を作成。「生ごみ出しま宣言書」を提出した生ごみを自家処理できる町民に対し、1世帯当たり年間最大80枚まで無償配布します。



関連取組企業等

3 再使用（リユース）の取組

○ランドセル FOR ALL／流通(株)

実施主体：流通株式会社

対象の取組：リユース

不要になったランドセルを次へとバトンを渡す「ランドセル FOR ALL」プロジェクトを2020年から実施。2022からは、通年を通してランドセルを寄付されたい方と受け取りたい方を募集しています。

集まったランドセルは、譲渡会等を実施して鳥取県内で暮らす外国籍のご家族や地域の必要とされている方へ譲渡し、残りのランドセルについては、県内外の団体や企業を通じて、鳥取県内だけでなく全国、また海外のランドセルを必要とするご家庭に譲渡しました。



関連取組企業等

○再生品の展示提供、体験型イベントの開催／リファーレンいなば

実施主体：公益財団法人鳥取県東部環境管理公社

対象の取組：リユース、リサイクル

鳥取県東部広域行政管理組合が設置する「リファーレンいなば」では、住民の皆様主体に活用いただくことを通じて、地球環境、リサイクル、ごみ問題に対する理解を深める住民参加型の施設として、様々な取組を実施しています。

(1) 再生品の展示提供

施設では、粗大ごみとして収集されたものの中から、修理して再利用できるものを展示し、提供しています。(タンスや机など、手間賃等の実費要)

(2) 体験型イベントの開催

随時、リサイクル体験教室を催すとともに、年2回大型イベント(リサイクルフェスティバル、エコフェスタ)を開催し、地球環境、リサイクル、ごみ問題について学んでいただいています。



※再生品の展示提供



※リサイクル工作体験コーナー

関連取組企業等

- ・鳥取県東部広域行政管理組合
- ・鳥取県

〇リユース容器のレンタル／エポック翼

実施主体：エポック翼

対象：リユース

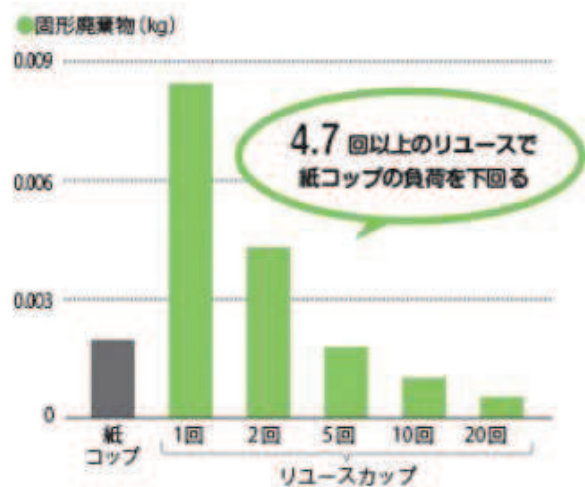
お祭りやイベント会場では、通常使い捨てのコップやお皿が使われることが多いですが、その結果、「祭りのあとには大量のごみ」ということになってしまいます。
循環型社会づくりの一環として、町内会や学園祭等を含むイベント時に利用いただける環境負荷の少ないリユース食器の提供(リース)を行っています。

【環境負荷を減らすリユース容器】

- 食器をリユースすることで、使い捨て容器のごみを減らし、資源の節約につながります。
- 使い捨てのライフスタイルを見直すきっかけになります。
- 繰り返し使用することで、CO₂ の排出量を 5 分の 1 に、エネルギー消費量を 3 分の 1 に減らすなど環境負荷を大幅に低減させることができます(利用の仕方により効果は変わります)。
※食器類のLCA(ライフサイクル アセスメント:環境負荷がどれだけかかっているかを評価する手法) 結果についてはリユース食器ネットワークの WEB に公開しています。

【活用事例】

屋外パーティー、音楽イベント、会議・研修、企業イベント、学園祭、お祭り、公民館祭、町内会など



東京大学生産技術研究所安井研究室実施のLCA(ライフサイクルアセスメント)分析(2003年)を基に作成
出展:リユース食器ネットワーク

関連取組企業等

4 再利用（リサイクル）の取組

○食育を通じた食品ロス削減等（環境教育）／学校法人かいけ幼稚園

実施主体：学校法人かいけ幼稚園

対象の取組：リデュース・リサイクル

- 食べ残し量の削減を目指し、残飯量の見える化
- 無理にたくさん食べるのではなく、自分にあった量を知り、それを残さず食べることで“もったいない”を無くすことを大切にしている。
- また、どうしても出てくる食べ残しは消滅型生ゴミ処理機を使用し、液肥を園の畑や花壇で活用
- 長年使用した通園バスを資源ごみを回収する「リサイクルランド」として活用。（子どもが親しみを持てる拠点を作り、楽しみながらリサイクルを実践するきっかけになる）



＜残飯量の見える化＞園のエンタランスに掲示してあります。目指せ、残飯ゼロ！



通園バスを活用した「リサイクルランド」で資源ゴミ回収！



消滅型生ゴミ処理機「エコデリータ」を使用し、液肥にして野菜や花の栄養に！



古着を集めて、発展途上国の子ども達へワクチンを贈っています。

関連取組企業等

- ・ 社会福祉法人鳥取福祉会むつみ幼稚園

○学校での4Rの取組／国立大学法人鳥取大学施設環境部

実施主体：国立大学法人鳥取大学

対象の取組：リサイクル・リニューアブル

- 弁当容器をごみとして捨てるのではなく、回収した弁当容器は、専用の工場で加工し、もう一度弁当容器として利用するという循環型リサイクルを実施
- 食堂から出る廃油（年間で約 5,100 ℓ）は、専門業者に回収を委託し、家畜の飼料や石鹼、バスの燃料にリサイクル
- ベーカリーカフェでは、プラスチック製ストローをバイオマス製に、プラスチック製マドラーを木製に変更し、脱プラスチックの取組み。
- 使用済みのトナー・インクカートリッジの回収箱を設置し、再処理メーカーにおいて再製品化しリサイクル
- スギやヒノキの間伐材・端材を原料にした環境にやさしい国産割り箸を使用
- 排出するダンボールは、専門業者に回収を委託し、トイレトーパー等にリサイクル

○オリジナル弁当容器のリサイクル

弁当容器をごみとして捨てるのではなく、回収した弁当容器は、専用の工場で加工し、もう一度弁当容器として利用するという循環型リサイクルに取り組んでいます。



○食堂グリーストラップの清掃対応

グリーストラップ内の油脂類を減らすために、カフェテリア”マーレ”及びウッドダイナー”アエル”については、油吸着材による毎日の回収清掃に加えて、自動回収装置を設置し運用しています。また、湖山地区の食堂だけではなく米子のカフェテリア”医学部食堂”でも2か月ごとにバキュームによりグリーストラップ内の油・残渣の吸引を行っています。利用者にも食器返却口で残汁の回収に協力してもらい、廃棄物として専門業者に回収を委託しています。



○トナー・インクカートリッジのリサイクル

使用済みのトナー・インクカートリッジの回収箱を設置し、再処理メーカーにおいて再製品化されています。



○セルリアの脱プラスチックの取組

脱プラスチックのためにベーカリーカフェ”セルリア”では、プラスチック製ストローをバイオマス製に、プラスチック製マドラーを木製に変更し、脱プラスチックの取組を行っています。

関連取組企業等

- ・鳥取大学生生活協同組合

○地域が連携した食品リサイクルループ／八頭町

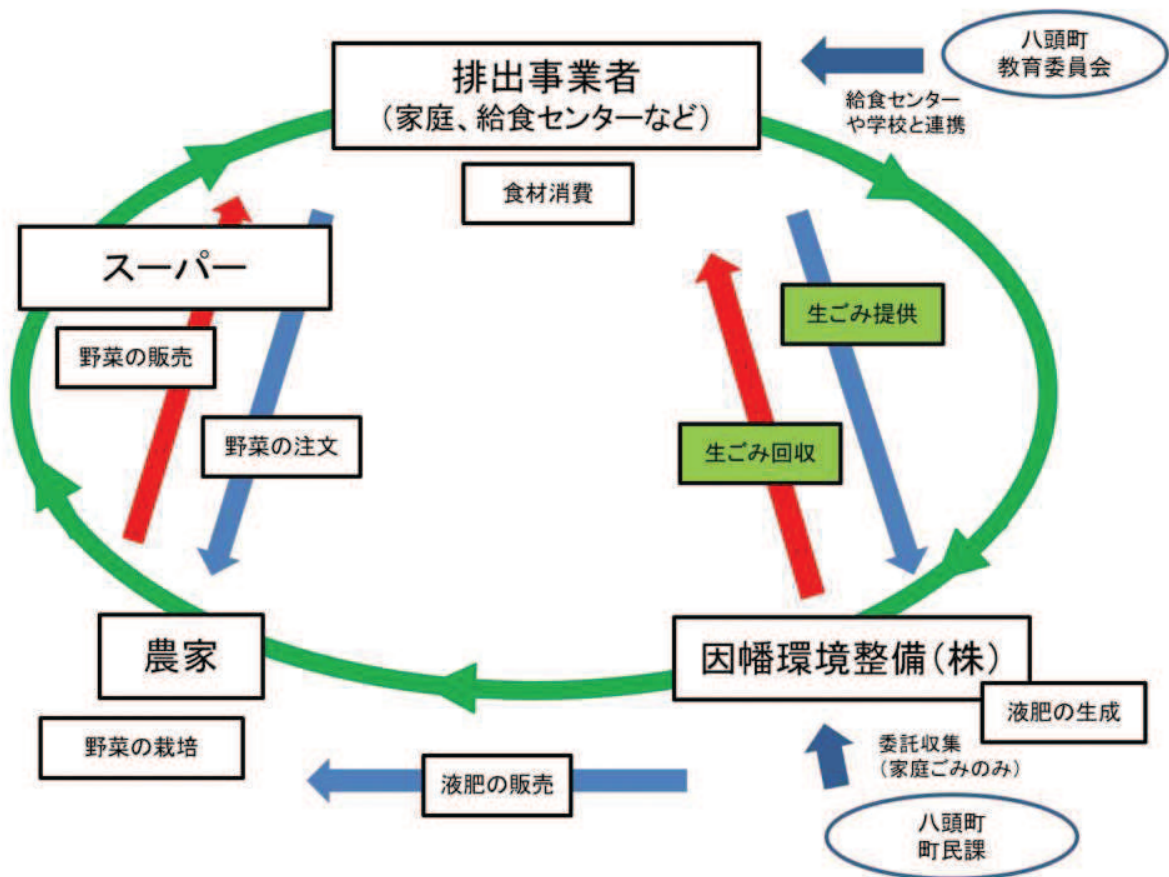
実施主体：八頭町

対象の取組：リサイクル

- 八頭町では、生ごみを分別回収し、液肥化する「食品リサイクルループ」を実践しています。
- 食品リサイクルループを通じて、食品ロス削減を考える環境教育も実施。

<リサイクルループ>

- 給食センターや病院、飲食店やホテルなどの事業所から生ごみを回収
↓
- 回収した生ごみから液肥を作り、野菜等の栽培に活用
↓
- 学校給食や病院の院内給食の食材に、液肥等を活用した野菜等を使用
↓
- スーパー等で液肥等を活用した野菜等を販売



関連取組企業等

湯梨浜町